

2025.01.11 FC大阪 サポーターミーティング 議事録

サポーターグループ代表：

よろしくお願いいたします。私からは3点お伺いします。

1点目、今シーズンからゴール裏にサポーター応援エリア（席割図における黄色で示しているエリア）を作っていただけて非常にありがたく思っております。この応援エリアは試合の時、ロープで区切るであったりとか、POPで掲示するとか、どのように区切るのでしょうか？

2点目、昨シーズンからマッチデープログラムが電子化されてホームページなどに載ようになりましたが、この中に僕らの応援歌が掲載されたサイトなどに誘導するためのQRコードを入れてもらえないでしょうか？

サポーターグループの広報不足もあり、応援歌を様々な方に知ってもらえていないので、クラブが配布している配布物の中に掲載してもらえればありがたいです。

3点目、昨シーズンの秋ぐらいから試合前にスタジアムのビジョンで私が挨拶をさせてもらう機会を設けていただきました。これはスタジアム全体を盛り上げていくという意図でやらせてもらいましたが、今シーズン、例えばスタジアムDJの方に、チームのコール応援の練習などもお願いすることもできますでしょうか？

我々サポーターグループでも今年のチームスローガンである圧倒を追求し、相手よりも圧倒した応援で、ホームの雰囲気をちょっとでも作っていければと思っています。そのためのまず一歩として、スタジアム全体で、よりチームを盛り上げていきたいので、スタジアムDJの方も呼びかけるような演出の検討をしていただければと思っています。

私からは以上3点です。よろしくお願いいたします。

佐藤運営担当

貴重なご意見ありがとうございます。まず1点目、応援エリアの区切り方の件ですが、今のところロープで区切ろうと考えています。

今回このようなエリアを設けさせていただいた背景としまして、やはりホームゴール裏というのはほとんどのチームで、立って飛び跳ねて旗を振るなど、座って見られる方に比べて少し激しめのサポーター層の方にご入場いただいていると思います。

僕としても皆さんにはどんどん旗を振ってほしいですし、どんどん飛び跳ね欲しいんですけども、我々のクラブのゴール裏は、お子様が多かったり、座ってご観戦されてい

るというお客様が他のクラブより多い傾向にあり、サポーターの皆様が座ってご観戦いただいている方から「ちょっと見えへん」とか「旗が危ない」とか、そういった要望から皆さんを守ることも含め、皆様が快適にご観戦いただくため、このエリアを改めて設定しました。

これによって座っている方からクラブに対して要望等を受けた時、クラブからも「ここは基本的には立って見るエリアなので、ゴール裏で座って見たいのであれば、この応援エリアからちょっと離れて座ってください」というようなことを言えるようにさせていただいています。

現状はこの応援エリアは6ブロックで考えていますが、今後立って応援いただく方が増えてくれば、ローピングのエリアを広げていくことは考えておりますので、開幕についてはこの範囲ということをご理解いただければと思っております。

サポーターA

僕はエリアをローピングして綺麗に枠にはめてしまうと、その周りでかえってトラブルが起きると考えています。人が増えてきた時、そのエリアの中に入りきらなくなる。入り切らないのでエリアの外で旗を振る。旗を振るのはエリアの中だけじゃないのか、とこういうトラブルが起こる可能性が高いと感じる。

僕の感覚だと、ゴール裏に年1回来てくれていた人が、年に2～3回ぐらい来るようになってきた。

僕はそういう観戦頻度が少なそうな人たちが多いところで観戦するようにしていて、その人たちと話をするとやっぱり「応援に入っているのかな」という話がほぼほぼ。そのような人には「一緒にやろうよ」など、前半にいろんな話をして雰囲気をつかってもらい、後半は一緒に盛り上がってもらおうという流れができてきているので、あえてこのエリアをローピングで縛ってしまうとそういうのが難しくなるし、逆にそこさえ離ればいいねという捉え方をされてしまう。なので、ざっくりで良いのではないかなと思います。それであればローピングでエリアを縛るよりも、スタンド上段を立入禁止にして欲しいです。

小谷本部長

今回設定しているエリアは現状に合わせたもので設定しています。その現状が変われば、エリアを変えていくというのは臨機応変にしていけるかなと思っています。

ゴール裏で固まって、声高々に応援するというのは選手にとって一番の声援になることは間違いないので、基本そのスタンスで皆さんもいてくださっていただければ大きなトラ

ブルに発展するという事は少ないのではないかなと思っています。
お互いを尊重しつつ、一緒に仲間を増やしていくという考え方でやっていただければ
なと思っています。

佐藤運営担当

2点目は試合前のスタジアムを盛り上げについてですが、昨シーズンはピッチ内ウォーミングアップ開始時間のギリギリまで外部のダンスパフォーマンスの方に出演いただきました。

ただ僕らの持ち物ではないスタジアムなので、なかなか自由度高く運営ができない部分が多々あります。特に芝生の保護の観点も含めて考えた結果、今シーズンはこのようなダンスパフォーマンスの時間をキックオフの105分前から70分ぐらいまでにしようと思っています。例えば14時キックオフであれば12時15分から12時45分までの30分間でゲストの方々に出ていただき、そこから先の時間は基本的にはグラウンドを開けて選手たちがより試合に集中できるような環境にしたいと考えております。例えば長野パルセイロさんがされている、スタジアムDJさんがゴール裏に向かって皆さんに熱く呼びかけてから選手が出てくるような演出、あそこまで近づけることができるかはわかりませんが、イベントからウォーミングアップまでに空いた時間を設けて、素晴らしい熱気の中で選手たちがプレーできるような時間や場面は設定させていただければと考えております。

小谷本部長

3点目のマッチデープログラムの件は、応援歌ができるだけ幅広い皆さんに知れ渡るようにしたいという趣旨だと思いますので、マッチデープログラムの掲載含めて、広報として何ができるかは一度考えさせていただきます。

もちろん応援歌が広まると応援の裾野も広がって、より圧倒したスタジアムの雰囲気作りができるということはわかりますので広報を通して意見交換していきたいと思います。

近藤社長

皆様にお礼をお伝えしようと思うのですが、ホーム最終戦（SC相模原戦）とその1つ前のYSCC横浜戦、いつもより応援の声が大きかったですね。意識していただいたのかはわかりませんが、最終戦についてはゲストの大黒摩季さんにあおられたのかもしれない

れませんが、その2試合は、声がいつもより大きく感じられて僕はすごく嬉しかったですし、多分アウェイのサポーターの方がそこそこ入ったとしても、声の大きさの部分も勝てたのではないくらい大きく感じました。

これに関しては皆さんにお願いすることしか言えないのですが、おっしゃっていただいているスタジアムにお越しいただいたみんなを巻き込んで応援してもらおうというのは、僕もずっとやりたかったことです。

そのやり方を模索している中で、昨シーズンはサポーターグループの方にちょっと喋ってもらおうという話になったのですが、みんなで手を叩くという文化を作りたい。メインスタンド、バックスタンドも含めて、チャントが流れたときに手を叩くという文化を作るのだけは2025年やりましょう。これは皆さんの協力が必ず必要です。それをするのに必要なことや「こんなしたらどう」というのはクラブにどんどん言うてください。

サポーターA

そこに近い話ですが、いずれはビッグフラッグやコレオをやりたいという話が出てきています。もちろんお金もかかることですし、直近では到底無理だと思いますが、スタンドすべてをどうサポーターで埋めていくかというのは我々サポーターにとっても今後課題にしていかなきゃいけないところ。でないとビッグフラッグができるわけない。

先ほどの社長おっしゃったように相模原戦のときは確かに音も、声も出ていた。バックスタンドにいる子供たちもものすごい声を出してくれていた。そのような環境を自然とできるようにするために一つ提案したいことがあります。

スタジアムの観戦ルールは色々たくさんあって、場内のアナウンスは基本的には禁止事項をアナウンスしている。これを試合直前の空白の時間に「やって良いこと」、例えばバックスタンドでも声を出して良いですよ、手を叩いて良いですよ、Sフラッグぐらいの大きさの旗なら振っても良いですよなどをアナウンスしたらどうでしょうか？うちの特徴として、やはりサッカー観戦に慣れていない人が多いので、禁止事項をアナウンスすることは必要ですが、試合開始直前に「これはやって良いのでやりましょう」という話をサポーターグループとかスタジアムDJさんがやってくれると良いのかなと思いますし、そこからチャントの方に繋げていくという流れを作って、これを毎試合同じようにずっと続けていく。すると自然と身になじんでいきますし、こうするのが当たり前なんだというのが皆さんわかっていくのではないかなと思います。

近藤社長

ありがとうございます。「やって良いことを言う」というのはクラブ内で検討したいと思います。

理想だけを申し上げると、各チーム試合前に「決まった歌みんなで歌を歌う」など、恒例行事みたいなものを必ず何か一つ、スタジアム DJ・MC 含めた全員でやっていますが、そのようなものを作れたらいいなと思っています。

初めて来場された方は大体バックスタンドにいらっしゃいます。この方々が次はゴール裏に行くという流れを僕らも作っていきたいと思っています。

ここからは僕が感じることを正直に申し伝えと、ゴール裏はゴール裏で皆さんお話されてすごくやってくれていると思います。バックスタンドに来られた方々を次はゴール裏にということは皆さんもイメージされていらっしゃると思うので、クラブでできること、サポーターの皆様でできること、それぞれ協力し合いながら、バックスタンド、メインスタンドの皆様を本当に巻き込む、これまでの話をまとめるとその話に繋がると思うので、これを一番にやりたいと思います。

そのためにスタジアム DJ が煽る、「やって良いことを言う」もここに繋がるとは思いますし、皆さんもその意識を既にお持ちでいらっしゃる。このことを僕は認識できてすごく嬉しいですし、それでクラブに求めることがあればどんどんおっしゃっていただいて、もちろんできないこともあります。一緒になって彼らがゴール裏に来るようになる。ゴール裏が埋まれば、やっぱり嬉しいじゃないですか。バックスタンドよりゴール裏が盛り上がる方が僕らも嬉しいし、多分選手が一番嬉しいと思います。3月26日のルヴァンカップでジュビロ磐田さんが来られるので、ジュビロさんに負けないうようにやっていきましょう。

サポーターA

今シーズンからバックスタンドとゴール裏の席種は統一されるんですね？

小谷本部長

はい、バックスタンドとゴール裏のカテゴリーは一緒になりますので、行き来することは自由です。

サポーターA

バックスタンドに煽りに行くのも自由？

近藤社長

自由ですが嫌われない程度にしていれば大丈夫です。やっぱりバックスタンド、メインスタンドはゴール裏と温度差がありますので。

例えば服部緑地とかであれば、応援エリアのところからサポーターグループの皆さんがメインスタンドの方に行って、この時は手を叩いてくださいとか、タオルマフラーを貸したりとか、色々なことをチャレンジしてくれていたと思います。

ですがどうしても花園は広いので、ゴール裏からバックスタンドやメインスタンドにそれをやりに行くという作業もなかなかできていなかったと思いますが、それはできればもっとしていただきたいと思いますので、どうするか考えましょう。

なにかおっしゃっていただければそれに応えることはできると思います。

サポーターB

セレッソ大阪さんとかは選手入場時に、カッコいいアンセムを流して「セレッソ大阪」と言いながら入場するので、すごく一体感があります。

私の友達も「これをやりに来ている」みたいな感じがあるので、そういうカッコいいアンセムを作っていただければなど。それも一体感の醸成に繋がるのかなと思っています。

近藤社長

アンセムもそうですが、選手入場時、ほかのクラブはほとんどのクラブがタオルを掲げますよね。うちもタオルが良いのか、拍手が良いのか、どちらでも良いのですが、なにか決めたいですね。

決まったことはクラブから発信します。ただ現状は招待で来てくれている方や、初めて来てくれた方は僕らから発信する情報はあまり目に留まってないと感じています。

僕らの告知力が弱いというのも当然あるかもしれませんが、例えばホーム最終戦の大黒摩季さんが来ていただける試合の時、終わってから「あの時なんと言ってくれへんかったの」という人が多数いらっしゃいました。

我々的には色々なところに発信しているつもりでも、僕らからの発信だけでは捕まらない人たちがまだまだたくさんいらっしゃいます。そんな時に、サポーターの皆さんの力が必要だと思っています。

我々からだけでなく「みんなでこれをやろうぜ」というのを皆さんからさらに大勢の

方が伝えていただけたら、他の皆さんもしてくれると思います。

サポーターグループ代表

実は選手の入場時については決まったチャントはあります。ただこの話をされたという事は聞こえていないということですね。

タオルを掲げるであったりとか、旗を振っているというのは多分見えていると思います。なので、この声の歌の部分については正直、僕らの力不足です。たくさんの皆さんに歌ってもらえるように、しっかりこういう場面ではこういう風に歌いましょうというのをしっかり告知させてもらえればなと思います。

小谷本部長

場内のBGMが流れたときに歌っているから聞こえないのであって、そのBGM自体を歌うものと同じ楽曲でやるっていうのが、おそらく良いのかなとは思いますが。

サポーターB

セレッソ大阪さんとかだとチームアンセムが流れて、応援の声をかき消すのではなく、そのアンセムに合わせてみんなが歌います。

またタオルを掲げるというのも、ゲーフラを作って掲げている人とかもいますので、タオルを持っていなければ参加できないというのではなく、持っていなければ拍手でも良いし、推し選手のゲーフラを掲げたいという人もいますので、そこを縛るのはキツイかなと思いますが。

近藤社長

今から文化を作ろうというのは僕ら、ここにいるメンバーです。「何かを立て持つ」という行為をみんなへ浸透するようにしたいので、伝え方などは考慮して考えますが「タオルを掲げようぜ」など、何かワンフレーズがない何事も動かないかなと思っています。

なので、もしかしたら一点集中で「タオル掲げよう」というのを伝えるのが良いかもしれません。そうするとタオルを持っていなければ買うか、タオルではない何かを持つか、そういう方々が少しは出てくると思います。

初めて来られる皆さんやまだ来場頻度が少ない方は、ここにいる皆さんを見られると

思いますので、少なくともこの皆さんはやっていただければ、バックスタンド、メインスタンドの皆さんにはやれる環境をクラブから発信しますし、皆さんも SNS などで情報を流すというこの 2 点。

なので、サポーターグループの皆さんでも、入場曲とチャントを合わせるというのを検討材料として、もしかしたら開幕ではできないかもしれませんが入場曲をシーズンの途中に変えても全然いいので、そのあたりも検討していきましょう。

サポーターC

「タオル出しましょう」とかをビジョンに出せば掲げてもらえるのではないのでしょうか？

あと他のクラブとかでは、スポンサーさんをお願いしてタオルマフラーを作って配ったりされていますが、そうすれば普及もしていくんじゃないかなと。

近藤社長

コーナーキックの時とかに「クラブハンズ」などをビジョンに出してはいるのですが、その「クラブハンズ」の表示が出たタイミングで、サポーターのみんなが違う応援歌を歌っていて、あれ？ってなったり、手を叩けるような歌じゃないときはあります。

ただこれはもうしょうがないのですけどちょっと考えましょう。

サポーターグループ代表

これについてはサポーターグループの方でも、クラブに出してもらっているのと違うのはよくないよねという話はしています。

近藤社長

皆さんがやって、メインスタンド、バックスタンドを巻き込むというのが 2025 年のテーマになると思いますので、サポーターとクラブが連動するというのをもう少しできたらと思います。なにかあればどんどん言ってください。

サポーターA

プレミアムファンクラブについてですが、プレミアムファンクラブ会員の数はこの2～3年ぐらいの推移はどうですか？

近藤社長

微増です。

サポーターA

お客様の数に応じて増えていくというのが正しいですが、例えば僕らはプレミアムファンクラブに入るのは、個人でクラブのスポンサーになったつもりの自己満足で入っていて、こういう方は結構いらっしゃいます。だから特典が何かというのは問題ではなくて、あくまでも自分はクラブを支えている1人なんだと。ただ一定数の方はレギュラーファンクラブに入ってユニフォームを買ったほうがプレミアムファンクラブに入るよりもトータルで安い。会員特典もレギュラーファンクラブの特典はいっぱいあるので、プレミアムファンクラブに入る理由がないという言い方をされる方もいらっしゃいます。これをどうにかしないとレギュラーファンクラブの会員は増えても、プレミアムファンクラブ会員はどんどん少数になっていく可能性は高いのではないかなと思っていますが、なにか打開する策は考えられていますか？

近藤社長

それについては常々検討しているところでありますが、プレミアムファンクラブについては、例えばシーズン終了報告会、これはパートナーさんしか来場できませんが、プレミアムファンクラブ会員は有料ですがこれに参加できます。これらに価値を感じてもらえる人がプレミアムファンクラブに入ってもらって会員が増えて行くという方が僕は自然だと思っています。

もちろんプレミアムファンクラブの会員数を増やしていくというのはクラブとしても絶対取り組んでいく必要はありますし、それを価値に感じてもらう人を増やさないといけないのですが、そのモノをプレゼントするだけではない「価値の提供」みたいなものがもっとできるような環境を作っていきたいと思っています。

「もらえるもの」「もらえないもの」というのは、当然ながら差別化はするべきですが、それ以外の付加価値な部分、今おっしゃっていただいたその根底の部分というのがプレミアムクラブの一番肝だと思っています。そう思っていただける人を増やすところが今のところクラブとしての努力が足りないところだと思っています。

当然ながらいろんな人に入ってくれた方が嬉しいですし、増やしていきたい気持ちはあるものの、クラブの価値を上げて、プレミアムファンクラブの価値を上げるという考え方も一方であるので、今いただいたご意見は真摯に受け止めていきながら、中身の改善もしつつ行きたいと思います。